

会山行報告書

会山行NO	No. 250a	報告者	加藤秀子
年月日	2003年2月1日(土・晴)	2万5千円=上高地	
山名	穂高岳・岳沢(上高地～岳沢ヒュッテまで)		
体力度=3・普通 技術度=4・やや難しい 危険度=4・天狗沢の雪崩注意 展望度=6・上高地・霞沢岳・西穂～奥穂稜線・乗鞍岳が素晴らしい。			
厳冬期にALPSのふところに入る			
コースと タイム	坂巻温泉発4:40→釜トン5:00→上高地6:50→岳沢ヒュッテ9:00 ～9:30→上高地11:00→風呂「さとう」16:30・・・乗鞍・国民休暇村17:00		
標高差	上高地～岳沢ヒュッテ=約700m		
参加者	CL・後藤隆徳(55)、加藤秀子(54)		

何時もながらの早朝未明の出発である。坂巻温泉下の行き止まりの道路に駐車し、そこからスキー板をザックに括り付け兼用靴での林道歩きだ。釜トンまで20分。湿ったトンネルは鋭く尖った「つらら」が下がり、落ちたら「ヤバイ」と思わせる。

だが、足元は何時もならアイゼンがないと危ない程のパリパリの氷面なのに、何故か今日はトンネルの中は全体にモヤがかかり、モアーツと生暖かい空気がただよっていた。

期待していた新しいトンネルは三つ目からだ。以前のトンネルとは天と地程の差で明るく足元は快適そのもの。でも何か「滑る」「滑る」とへっぴり腰で歩くあの釜トンがとて愛着が湧くのは私だけなのかな。出口からは、見事に圧雪した固い林道を兼用靴でひたすら歩き2時間弱で上高地に到着。人気のなく寂しそうな佇まいのターミナルの脇を抜け、そのまま河童橋へと向かう。

梓川は夏の勢いのいい流れと水量がなく、「カモ」が群れて餌とりをしていた。観光地の夏と冬はこんなにも違うものなのか・・・と活気づく季節の前、ひと時の感触を楽しむ。

河童橋からシール登行が始まった。岳沢入り口の看板から樹林帯の中へ突入。木々の間の小さいアップダウンに板を操り、帰りの滑りは難しいかなと独り言。人の入った形跡はまるでない。鬱蒼とした灌木帯を抜けると、前方は突然開け西穂から天狗の稜線がド迫力で眼前に飛び込んだ。うわあ。何と素晴らしい光景だろう。

天狗の頭から発生する沢が裾を大きく広げ、さながら花嫁さんのウエディングベールのような。尾根を辿りながら足元の雪の観察を怠らない。表面がパリッと固くモナカに近い。

前方に雪に埋まった岳沢ヒュッテの屋根が見えた。手前左側から尾根を横切って天狗沢が落ちこんでいる。下部はウエディングベールの裾とは程遠く、雪崩れた跡のデブリがそこかしこにあった。緊張した面持ちのCLは、「此处は一人ずつ渡ろう。力を出して素早く渡れ。」と言い残し、アツという間に渡りきった。ヨージ。私も・・・と勢いつけてシールを滑らせた。ところが、見た目以上の厳しい傾斜に思うように足が運ばない。しっかり板の蹴りを入れて、何事もなく渡りきったときはホッと安堵した。後は小屋までひと登り。

小屋で滑降の準備を済ませいよいよ本番だ。出だしはいつも神経が張りめぐる。CLが先行し加藤が追う。先ほどの天狗沢から谷へと滑り込む。シマッタ。凄いな。足元がグラグラだ。だが、いつも思うが2番手は調子がいい。先行のCLが転倒したりすると、雪がヤバイなと察知してスピードを殺し、慎重に腰を構えることができるからだ。

しかし、このモナカにはウー！参った。岳カンバ？ハンの木？雪で埋まって背丈の低くなった林がとてもきれいだ。それを抜けると、鬱蒼としたつんだタンネ林の中である。以前なら板をはずし兼用靴で歩くだろう。今回は、一度も板を外すことなく滑り切った。1枚バーンを快適に滑る楽しさとは又違い、十分に満足が味わえた山であった。

上高地から、地獄の苦しみが待っていた。固い林道に兼用靴がきっちりのCLは足に大きな豆を作り、ピッコひき引きの歩きである。とにかく釜トンの入り口まで一緒に行き、そこから加藤が坂巻温泉に置いてある車までひたすら走る。走る。車を回収し釜トンの入り口までとって返し、CLを乗せたあと「さとう」でやっと落ち着いた。

いつも変わらない笑顔で暖かく迎えてくれる通称「お母さん」がとてもいい。此处へ寄ったあとの帰りはいつも心が温まるから不思議だ。暫くお世話になり、山スキーの仲間が待つ乗鞍へと向かった。

あとがき（後藤）

岳沢の地図を見ると、その素晴らしい等高線に痺れる。しかし、何故かここのスキーの記録は殆ど無い。何故、何故と考えても分からなかった。

強いて言えば「雪崩」と「歩行の長さ」か。山スキー世話人の頓所さん、豊科署に相談した。豊科署はすごく親切で親身に相談に乗ってくれた。

結果、ここ10日程豪雪がないので「雪は落ち着いてる」から「まずまず、大丈夫かな」だった。

確かに大雪の後、雪崩は危険だ。特に天狗沢は要注意である。滑りは言うまでも無く、素晴らしいものだった。

